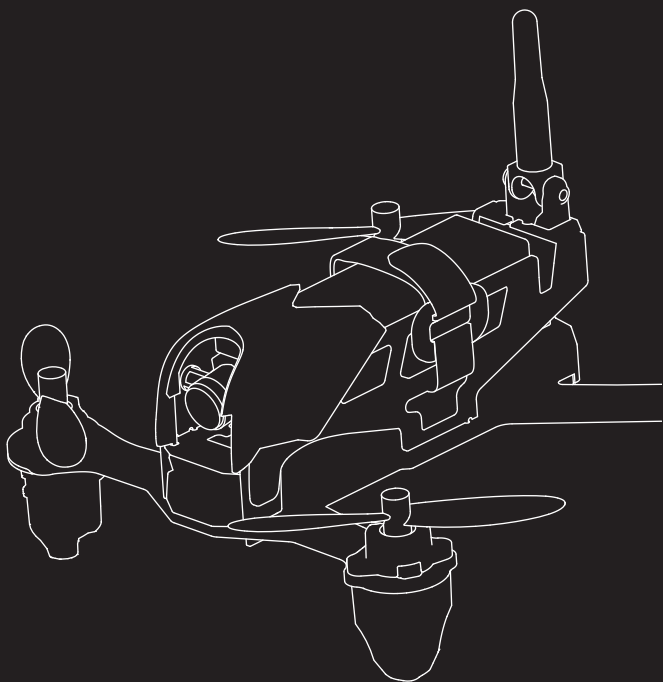




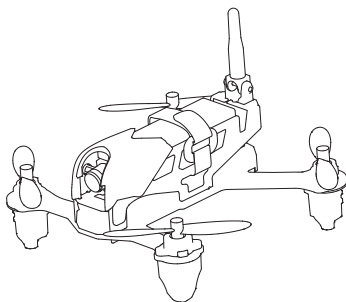
H122D X4 STORM

《H122D ユーザーマニュアル》

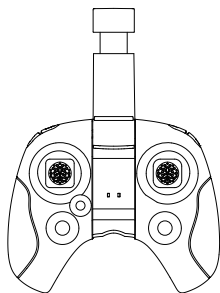
バージョン 2.0

H122Dは3通りの操縦があり、それぞれに特徴があります

1. 機体+HT015送信機 (トランスミッター)

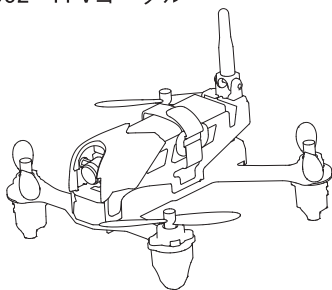


H122D

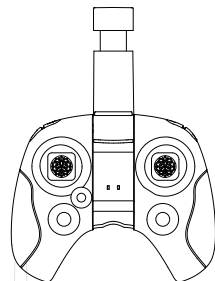


HT015

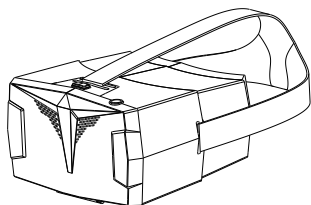
2. 機体+HS001 LCDディスプレイ+ HT015送信機 (トランスミッター) +HV002 FPVゴーグル



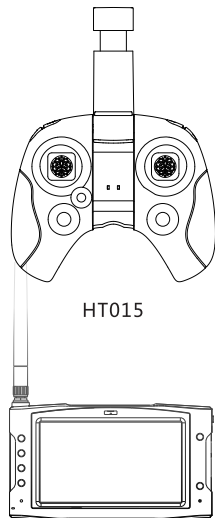
H122D



HT015



HV002



HS001

重要な安全上の注意

オペレーション：本マニュアルをよく読み操作をご理解いただいた上で、安全に注意を払ってご使用ください。墜落や強硬な着陸による衝撃、や水のある場所に着陸させると機体内部の電子部品が損傷を受け、故障する可能性があります。製品故障、人身事故、または物損事故を避けるため、破損したパーツは速やかに交換してください。

メンテナンス：ご自身で機体や送信機、中継器などを分解、改造、修理しないでください。故障の場合はHubsanまたはHubsan正規取扱店にお問い合わせください。詳細については、公式サイト www.hubsan.com をご覧ください。

バッテリー：強い衝撃を与えたり、加熱や分解、改造は絶対に行わないでください。夏季の車内などバッテリーを60℃以上の温度下で使用・保管はしないでください。電子ショートを引き起こしたり、バッテリー端子を金属に接触させたりしないでください。飛行前には機体のバッテリーを充電してください。充電にはHUBSAN専用充電器を使用してください。電池の保管は湿気のない冷暗所で、子供の手の届かない場所に保管ください。

フライト：フライト時は、操縦者をご自身と他の方の安全に責任を持ってください。

- ・悪天候の時にはフライトしないでください。
- ・フライト中の機体に触れないでください。プロペラが高速で回転しており大変危険です。
- ・このモデルは14歳以上の経験豊富な方を対象としています。
- ・飛行後は、まず機体の電源を先に切ります。モーターが完全に停止してから機体の電源を切ってください。機体の電源を確実に切った後、送信機の電源を切ります。

記号の説明

 禁止事項

 重要なお知らせ

 指示事項

 説明/参考

使用に関するアドバイス (Hubsan H122D を安全にご使用いただくため、本ユーザーマニュアルおよび安全ガイドラインコンテンツを作成いたしました。必ずお読みください。)

 「クイックスタートガイド」

リチウムポリマー電池 (LiPoバッテリー) 安全ノート

LiPoバッテリーは軽量化のため薄いホイルで包まれています。これは重量を大幅に減らすという利点がありますが、不適切な取り扱いにはバッテリーの寿命を縮めるだけでなく、損傷によって発火や爆発などの危険性があります。

- ・ LiPoバッテリーを1週間以上使用しない場合は、約50%程度の充電状態で保管することで性能を維持し、寿命を伸ばすことができます。
- ・ LiPoバッテリーの充電には、必ずHUBSANの専用充電器を使用してください。
- ・ 保管のため、放電機を使用する場合の放電率 (Discharge Rate (C)) は、5C以下で行ってください。過放電や急速放電による電池の破損を避けるため、長時間の放電はしないでください。
- ・ カーペットなど燃え易い物の上で充電はしないでください。
- ・ 3ヶ月以上使用しない場合は充電してから飛行をしてください。

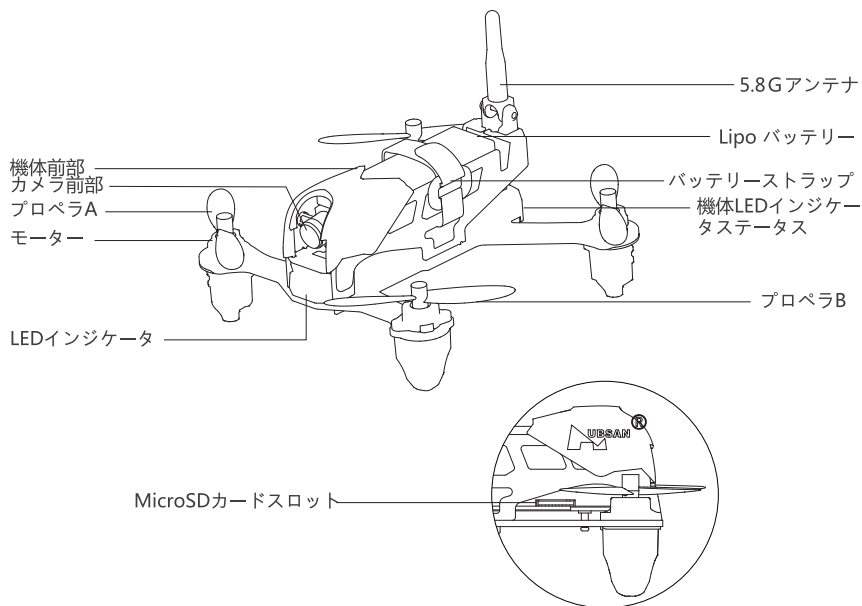
- ① 1.LiPoバッテリーを分解、改造、修理しないでください。
- 2.端子がショートしないように十分注意してください。
- 3.熱源の近くで使用または充電しないでください。
- 4.LiPoバッテリーに水などの液体をかけないでください。
- 5.日光に当てたまま または火の近くで充電しないでください。
- 6.LiPoバッテリーに衝撃を与えたり、傷をつけたりしないでください。
- 7.バッテリーを投げたり、乱暴に取り扱ったりしないでください。
- 8.膨れたLiPoバッテリーは性能劣化のサインです。膨れたLiPoバッテリーはご使用をおやめください。
- 9.LiPoバッテリーの付近ではんだ付けしないでください。
- 10.LiPoバッテリーを過充電または過放電しないでください。性能や寿命を縮めます。
- 11.充電の際は極性 (+ -) を間違えないよう注意してください。
- 12.車の充電器など、専用充電器以外の電源に接続しないでください。
- 13.このLiPoバッテリーはH122D専用です。他の機体、機器には使用できません。
- 14.LiPoバッテリーの内容物が表面に出てきた場合、それらに決して触れないでください。もし、皮膚や衣類にこれらの物質が付着した場合は水でよく洗い流し、医師の診察をお受け下さい。
- 15.異なる種類の電池と混ぜて使用しないでください。
- 16.指定された充電時間を超えないでください。
- 17.LiPoバッテリーを電子レンジなど高周波または電磁波が発生する場所に置かないでください。
- 18.LiPoバッテリーを直射日光に当てないでください。
- 19.静電気の多い環境 (64V以上) では使用しないでください。
- 20. 0℃以下、45℃以上では使用または充電をしないでください。
- 21.新たに購入した電池からの液漏れ、悪臭など異常がある場合は、ただちに販売店にご連絡ください。
- 22.子供の手の届かない場所に保管してください。
- 23.専用の充電器を使用し、すべての注意事項を守って充電してください。
- 24.未成年がLiPoバッテリーおよび付属機器をご使用になる場合は、必ず保護者や経験者が付き添ってください。

索引

重要な安全上の注意 -----	1	3. フライトを始めます -----	11
記号説明 -----	1	3.1 フライト前点検 -----	12
使用方法に関するアドバイス -----	1	3.2 操縦1：機体+送信機HT015 -----	12
1. H122D機体 -----	4	3.2.1 機体と送信機をバインドします	12
1.1 機体各パーツ-----	4	3.2.2 水平校正 -----	13
1.2 充電とバッテリー組み付け-----	4	3.2.3 離陸と着陸 -----	13
1.3 プロペラの取り付けと組み付け-----	5	3.2.4 基本的なフライト操作 -----	14
1.4 機体のLEDインジケーター-----	6	3.2.5 エキスパートモードとノーマル モード -----	15
1.5 カメラ角度の調整-----	7	3.2.6 アクロバティックなフライト---	16
1.6 Micro-SD カードの組み付け-----	7	3.3 操縦2：機体+HS001 LCDディスプレイ + HT015送信機（トランスミッター） + HV002FPVゴーグル -----	18
2. HT015送信機（トランスミッター）-----	7	3.3.1 機体と送信機のバインド -----	18
2.1 HT009送信機（トランスミッター）--	7	3.3.2 水平校正-----	19
2.1.1 送信機各パーツ-----	7	3.3.3 HS001 LCDディスプレイの組み 付け -----	20
2.1.2 HS001各入力キーの機能-----	8	3.4 モーターストールプロテクション ---	20
2.1.3 送信機用バッテリーの組み付け	9	H122D よくある質問-----	21
2.2 HS001 LCDディスプレイ-----	9	H122D FAQ（よくある質問）-----	23
2.2.1 メインインターフェイス-----	9	H122D アクセサリー -----	24
2.2.2 LCDディスプレイ各パーツ-----	9		
2.2.3 HS001各入力キーの機能-----	10		
2.2.4 ディスプレイを充電します-----	11		
2.2.5 TF(Micro SD カード)の組み付け	11		
2.3 HV002 FPVゴーグル -----	11		

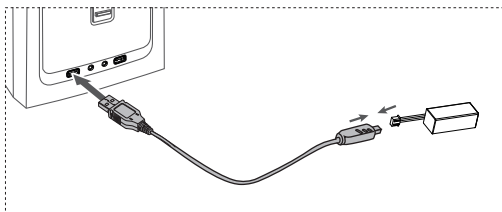
1 H122D機体

1.1 H122D機体各パーツ

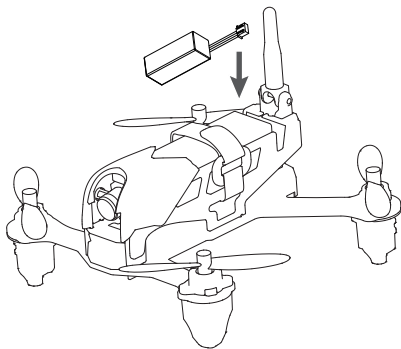


1.2 機体用バッテリーの充電と組み付け

1.H122D機体用バッテリーには710mAhの容量と7.6Vの電圧を持つ充電式LiPoバッテリーを使用しています。LiPoバッテリーの充電には、必ず付属のHUBSANの専用充電器（バランスチャージャー）を使用してください。飛行前にバッテリーを完全に充電してください。充電の際は、LiPoバッテリーをUSB充電ケーブルと接続し、USB充電ケーブルをコンピュータまたは家庭用USBアダプタに接続します。充電完了までに最長で約130分かかります、飛行時間は6.5分ぐらいです。飛行の前に必ずバッテリーを充電してください。

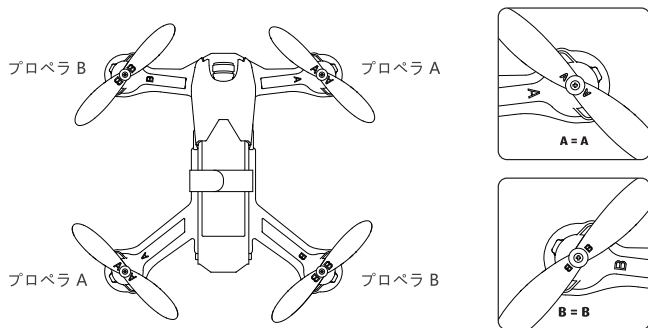


バッテリーの組み付け：LiPoバッテリーを機体のバッテリーコンパートメントに正しく押し込み、スロットに電源コードを整理します、マジックテープを使用してバッテリーを固定します。（電源コードとプロペラは絡む合わないように注意してください。）



- ・飛行中にバッテリーの残量不足にならないよう、フライト前にはLiPoバッテリーを満充電してください
- ・充電中のLiPoバッテリーは放置せず、常に充電状況を監視してください。
- ・充電完了後はすぐに充電器からバッテリーを外してください。

1.3 プロペラの取り付けと取り外し



本製品は専用のプロペラ（5.3インチ）を【A】タイプ2枚、【B】タイプ2枚、合計4枚使用します。【A】と【B】のプロペラは回転方向が異なり、取付けネジの方向も異なります。安定したフライトをさせるため、破損したプロペラは速やかに交換してください。機体のモーター付近に、取付けるプロペラの種類を示した【A】・【B】表示があります。表示に従い、同じ種類のプロペラを取付けてください。【A】・【B】を間違えると取り付けができません。マーク「I」を マーク「D」付きの平らなモーターシャフトの面に合わせて、付属のネジと補助レンチを使用して各プロペラを固定します。プロペラAは黒いネジで、反時計回りに締めつけます。プロペラBがシルバーのネジで時計回りに締めつけます。（以下に示すように）

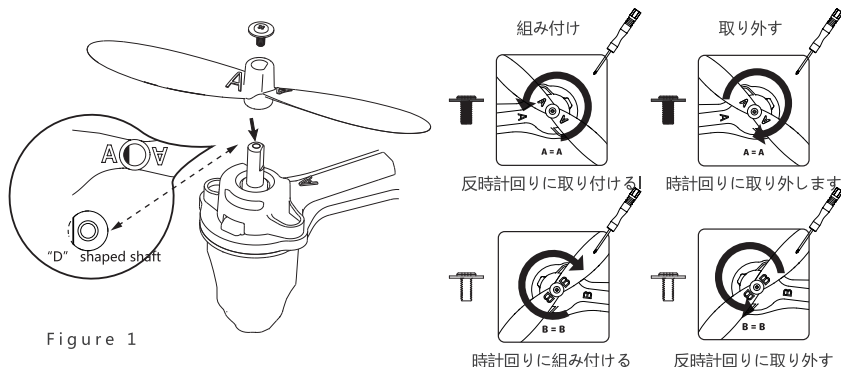


Figure 1

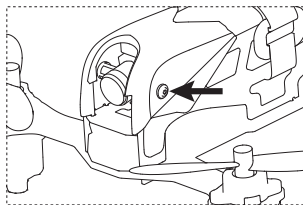
注意：プロペラAとBのスクリーウの異なる色に注意してください！

1.4 機体のLEDインジケータ

状 態	LED表示
ヘッドライト（ホワイト）	通常飛行の場合、ヘッドライトは白色で点灯します、操縦者は手動でオフにすることができます。
後部LED インジケータ（レッド）	電源ON と スタート：4つのLEDが同時に点滅します
	機体が受信できない：機体制御信号を受信できなくなった場合、右側後部LEDがゆっくり点滅します、受信できると右側後部LEDが点灯します。
	水平キャリブレーション（較正）：左右のLEDが交互に点滅します、完成すると、四つのLEDは点灯します。
	撮影：操縦者は写真を撮る時、二つの後部LEDは一回同時に点滅します。
	ビデオ：操縦者はビデオを撮る時、二つの後部LEDはゆっくり同時に点滅します。
	ローバッテリー：二つ後部LEDが急速に点滅します。（ローバッテリーの場合、この表示は他より優先されます）
画像伝送LED インジケータ	電源ONと初期化：機体の電源を入れる時、四つのLEDは同時に点灯します。満充電になると、赤いLEDが一度点滅してから消えます。
	待機状態：赤色LEDは消灯し、青色LEDは点灯します。
	機体にSDカードを差し込まないまたはカードにエラーが発生する場合は、赤色LEDが消灯し、青色のLEDが1秒ごと1回点滅します。
	アップデート：機体のファームウェアが更新されている場合は、赤色と青色LED同時に点滅します、アップグレードが完了すると、赤色LEDが消灯し、青色LEDが点灯します。
	撮影：操縦者は写真を撮る時、赤色LEDは消灯し、青色LEDは一回点滅します。
	ビデオ：操縦者はビデオを撮る時、青色LEDは点灯します、録画中は赤いLEDが連続して点滅します。録画が完了すると、青色LEDは点灯したまま、赤色LEDは消灯します。

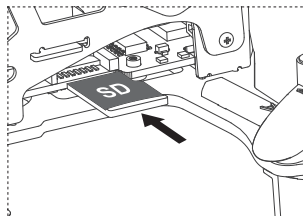
1.5 機体カメラアングルの調整

機体のカメラアングルを変更する場合、ドライバーを使用して、カメラヘッドを固定するネジを緩めます。必要に応じて手でカメラヘッドを調整してから（下向きに最大8度、上向き最大45度）、しっかりとネジを締めます。



1.6 Micro SD カードの取り付け

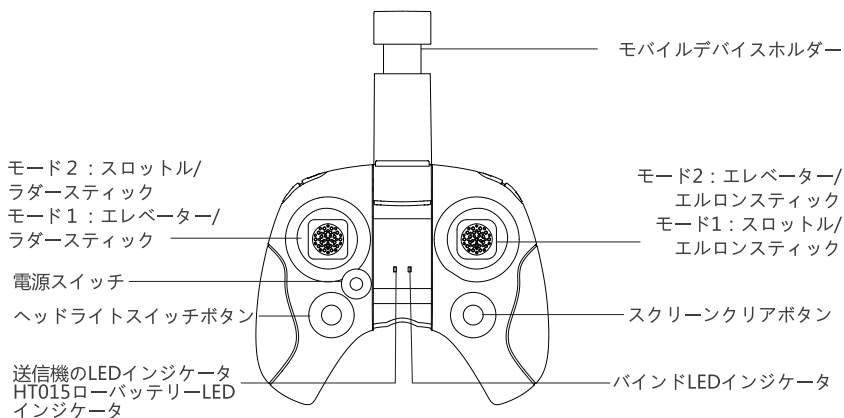
Micro-SDカードのスロットは機体下部にあります。Micro-SDカードを機体に挿入して写真を撮影し、ビデオ録画をします。

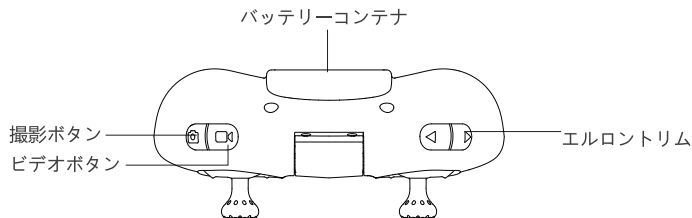


2 HT015送信機

2.1 HT015概要

2.1.1 送信機各パーツ

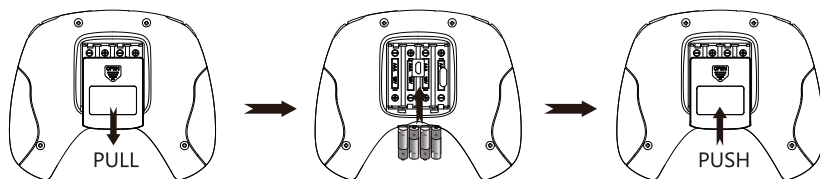




2.1.2 送信機の各キーの機能

番号	キー/ボタン/スイッチ	機 能
1	スロットル/ラダー スティック	スティックを前方または後方に倒すとスロットルが開閉し、機体が上昇または下降します。スティックを左または右に操作することで機体が反時計回りまたは時計回りに回転します。
2	エレベーター/エルロ ンスティック	スティックを前または後ろに倒すと機体が前方または後方にフライトします。スティックを左または右に倒すと機体が左または右にフライトします。
3	電源スイッチ	送信機の電源スイッチです。電源を入れるとLEDは点灯します。使用しないときはOFFにしてください。
4	バインド	写真ボタンを押しながら、送信機の電源を入れると、機体とバインドします。
5	モーターの始動/停止	両方のジョイスティックを外側下方へ操作し、1.5秒間その位置を保持します。
6	撮影ボタン	短く押すと、写真を撮ります。
7	ビデオボタン	一度短く押すと、録画を開始します、もう一度短く押すと録画を停止します。注意：操縦者は写真と録画を同時にできません、そうしないと、録画過程は中止されます。
8	ヘッドライト電源スイ ッチ	短く押すと、ヘッドライトはON、もう一度短く押すと、消灯します。
9	エルロントリムボタン	短く押すと、エルロントリムを始動します。
10	送信機のLEDインジ ケータ	通常、LEDは点灯しています。ローバッテリーの場合は、LEDが急速に点滅し、送信機が連続してピープ音が鳴ります。
11	バインドLEDインジケ ータ	未接続：青色LEDはゆっくり点滅します。 接続：青色LEDは点灯して、ピープ音が鳴ります。
12	スクリーンクリアボタン	短く押すと、スクリーンをクリアします、もう一度押すと、コンテンツは現れます。
13	アクロバティックモ ード	スロットルを短く押すと、（クリック音が聞こえます）送信機は3回鳴り、アクロバティックモードに入ります。
14	感度	ノンスロットルジョイスティックを短く押すと（クリック音が聞こえます）、ピープ音が2回鳴り、エキスパートモードに入ります。 エキスパートモードを終了する：ピープ音が1回鳴ると、エキスパートモードを終了します。

2.1.3 送信機用バッテリーの取付け



送信機裏面下部の電池取出口のネジを外してバッテリーコンテナを開きます。

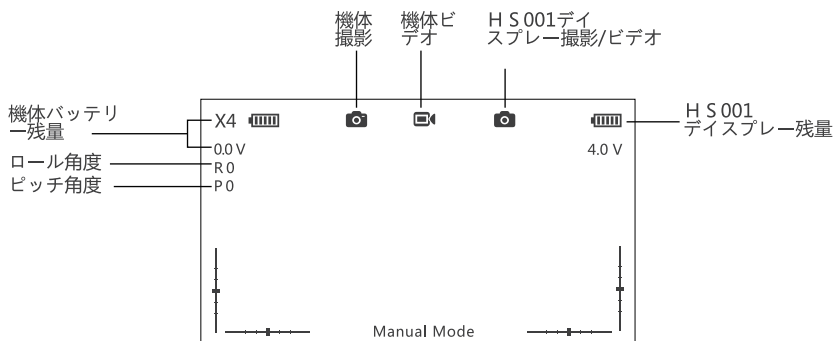
バッテリーコンテナに単三電池4本を差し込みます。
(極性を間違えないようにご注意ください。)

取出口のパネルをバッテリーコンテナの元に戻してから、ネジで固定します。

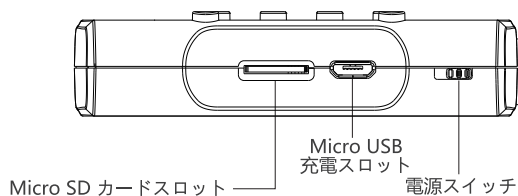
・バッテリーコンテナには2つのポートがあり、アップグレードに使用されます。これらのポートを他用途のデバイスにも使用されたり、接続したりしないでください！

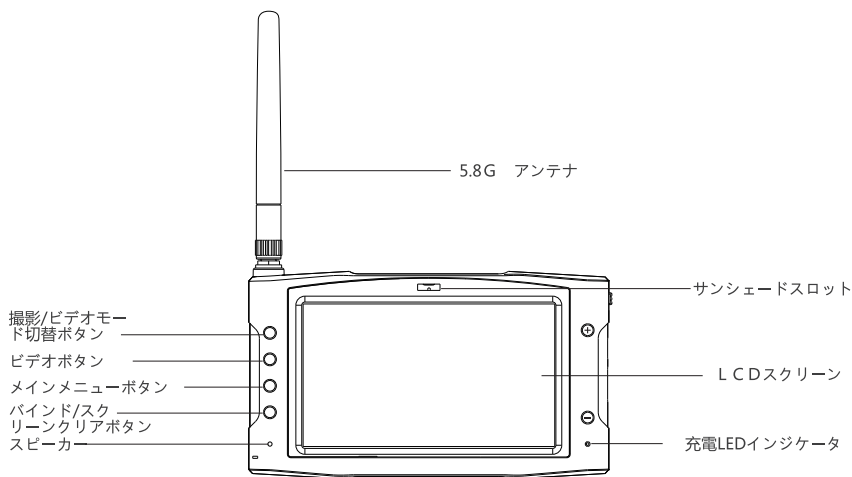
2.2 HS001 LCD ディスプレー

2.2.1 メインインターフェイス



2.2.2 ディスプレーの各パーツ



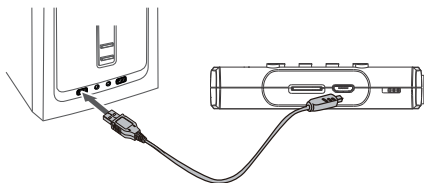


2.2.3 HS001各キーの機能

番号	キー/ボタン/スイッチ	機能
1	電源スイッチ	ONにすると送信機の電源を入れます、OFFにすると、電源を切ります。
2	撮影/ビデオ切り替え スイッチ	写真/ビデオモード切替スイッチボタン
3	撮影/ビデオボタン	短く押すとビデオを停止、写真を撮ります
4	メインメニューボタン	短く押すとメインメニューに入ります。+/-調整キーを使用して、画面の明るさ/コントラスト/クロミナンス/5.8GHzの周波数を調整し、ファームウェアの情報を確認できます。
5	バインド/スクリーン クリアボタン	長押ししながらスクリーンの電源を入れると、バインドをスタートさせます。画面が表示されている間は短く押すと画面をクリアし、もう一度短く押すと内容が表示されます。
6	Micro SD カードスロット	SDカードをLCDスクリーンのスロットに差し込み、写真を撮ったり、ビデオを撮ったり、コンテンツを保存したりします。
7	Micro USB ポート	充電およびファームウェアの更新に使用されます（必要な場合のみ）。
8	充電LEDインジケータ	充電中、LEDは赤色で点灯します。充電が完了すると、LEDは緑色で点灯します。

2.2.4 ディスプレイを充電します

マイクロUSBケーブルを使用して、ディスプレイを充電します。ディスプレイが充電中に、LEDは赤色で点灯します。ディスプレイの充電が完了すると、LEDは緑色で点灯します。USBポートまたはアダプタで充電できます。充電時間は約2時間です。

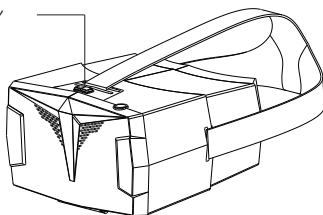


2.2.5 TF(Micro SD カード) の組み付け

ディスプレイの右側にあるカードスロットに MicroSD カードを指でゆっくり押し込んでください。取り外す際は、再度内側にゆっくり押し込み、カードに指を添えながら引き出してください。

2.3 HV002 FPV ゴーグル

フェイスパネル取り外しボタン

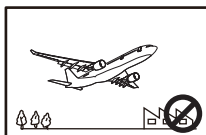


3 フライトを始めます

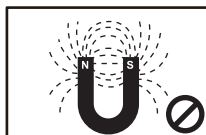
初めてのフライト前には飛行スクール等での体験をお勧めします。安全な環境でH122Dのフライトに習熟してください。



高圧電線



空港



磁気干渉



雨の天気

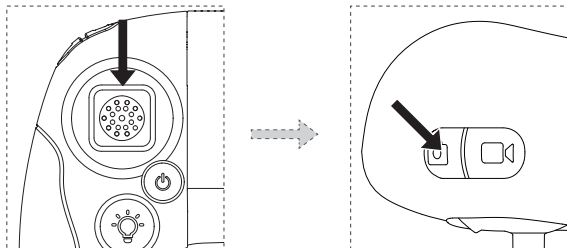
3.1 フライト前点検

- 1) 機体とモバイルデバイスのLiPoバッテリーが十分に充電されていることを確認します。
- 2) プロペラとスクニユ[®]が正しく取り付けられていることを確認します。
- 3) 電源を入れる前に、MicroSDカードが装着されており、録画可能な空き容量があることを確認してください。
- 4) すべてのモーターが正しく作動することを確認してください。
- 5) カメラのレンズがきれいであることを確認してください。

3.2 操縦1：機体+送信機H T015

3.2.1機体と送信機をバインドします

1. スロットルを最も低い位置に押し下げます
2. 写真ボタンを押すまま状態で、送信機の電源を入ると、送信機のLEDは青色で点滅します、このプロセスが進行中、他のキー、ボタン、またはスティックを押したり触ったりしないでください。送信機を機体のすぐ近くに置き、機体の電源を入れて、機体と送信機をバインドさせます。バインドステータスLEDは緑色で点滅すると、バインドは完了します。

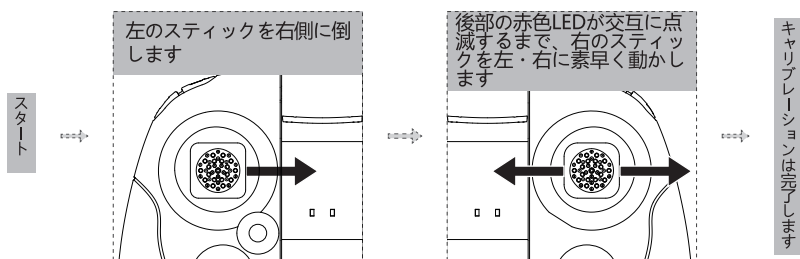


すべてのイラストはモード2（左スロットル）で説明されます

3.2.2 水平キャリブレーション (ジャイロ校正ともよばれます)

飛行中の機体が意図せず水平に移動してしまう場合は、水平キャリブレーションを実施してください。飛行中に異常が発生した場合は機体を着陸させ、モーターを停止してください。以下の手順に従って、水平キャリブレーション/ジャイロ校正を行ってください。

1. 機体を水平な場所に置き、次の水平キャリブレーションを行ってください。左のスティックを右側に倒した状態で、後部の赤色LEDが交互に点滅するまで、右のスティックを左・右に素早く動かします。
2. 4つのLEDがすべて青色で点灯すると水平キャリブレーションは完了です。再飛行は水平キャリブレーション終了から15～20秒程度過ぎた後に行ってください。

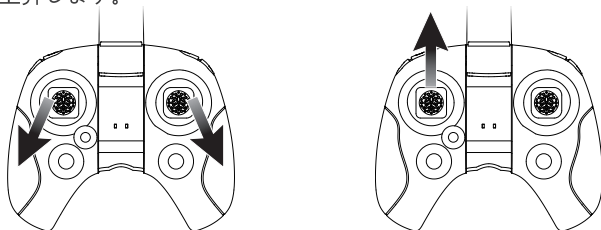


水平キャリブレーションを行う前に、すべてのモーターが完全に停止しているか確認してください、そして、機体が水平に置かれているか確認してください。校正中に機体を動かしたり、傾斜面で行うとエラーが発生します。

3.2.3 離陸/着陸

離陸

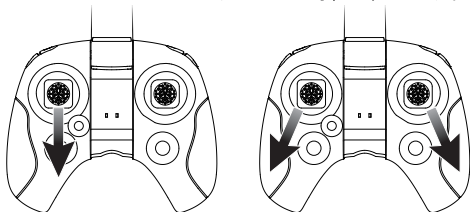
図のように送信機の左右両方のスティックをそれぞれ同時に下方外側へ操作するとモーターが始動します。ゆっくりと左のスロットルスティックを押し上げると、機体は離陸して上昇します。



着陸

機体が完全に地面に着陸するまでスロットルスティックをゆっくりと押し下げます。

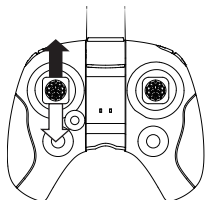
着陸後、左右のバーチャルスティックをそれぞれ外側下方にゆっくり操作するとモーターは停止します。モーターが完全に停止するまでバーチャルスティックから手を離さないでください。



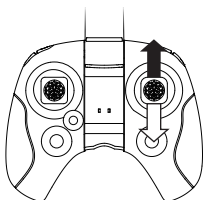
3.2.4 フライトの基本操作

注意：機体を飛行させる時は、コントロールレバーをゆっくり、しっかりと操作してください。機体の高度を保つため、若干スロットルを上げて高度を調整してください。

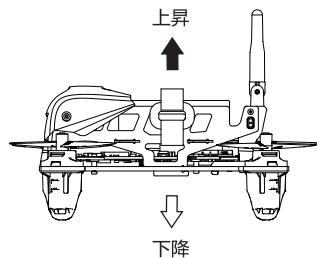
スロットルは、機体の上昇と下降をコントロールします。



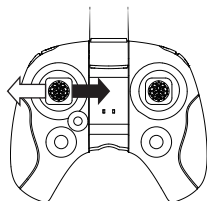
モード2 (左スロットル)



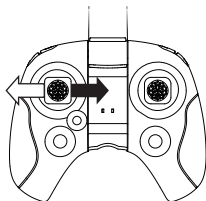
モード1 (右スロットル)



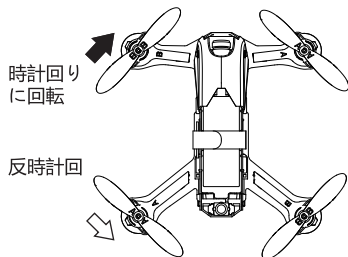
ラダーは、機体の回転をコントロールします。



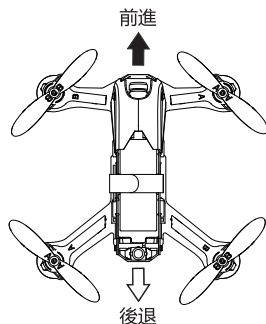
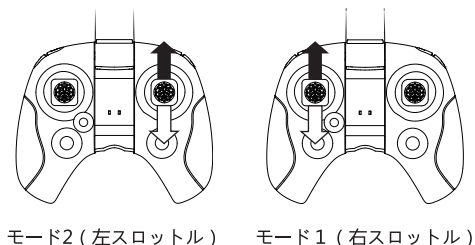
モード2 (左スロットル)



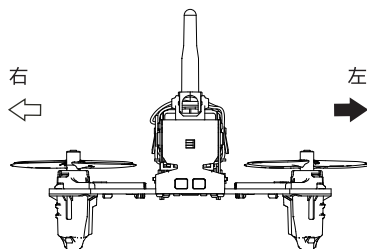
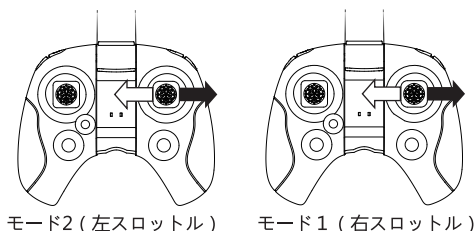
モード1 (右スロットル)



エレベータは、機体の進行と後退をコントロールします。

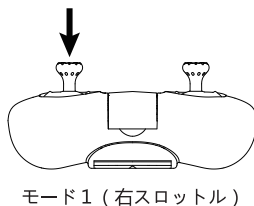
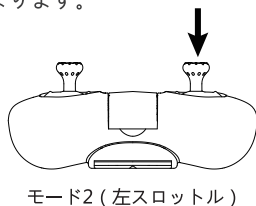


エルロンは、機体の左右の移動をコントロールします。



3.2.5 エキスパートモードとノーマルモード

スロットルジョイスティックを短く押すことで (クリック音が聞こえます) 「Expert mode」のon/off切替えを行います。「Expert mode」の場合は機体の動作が俊敏になります。



3.2.6 アクロバティックなフライト



H122Dは360°のロールオーバーとフリップが可能です。以下の手順に従って操作してください。フリップとロールを安全に行うため、十分に機体高度を保ってください。上昇中の機体は高度を維持しやすいため、フリップまたはフリップ操作をより安定して行うことができます。

旧フライトコントロールバージョン：1.X.X（プログラムの制限があるため、2.X.Xにアップグレードすることができません。）

新フライトコントロールバージョン：2.X.X

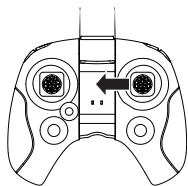
1. 左ロール

旧バージョン：

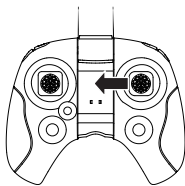
スロットルを短く押したままの状態（クリック音が聞えます）、エルロンを左に倒すと、機体は左ロールします。

新バージョン：

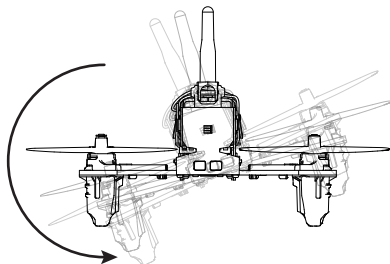
スロットルを止め、エルロンスティックを左に倒すと、機体は左ロールします、左ロールが完了すると、エルロンスティックを中央位置に戻し、機体の位置を調整してください。



モード2左手



モード1右手



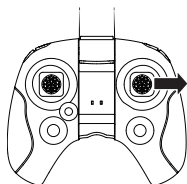
2. 右ロール

旧バージョン：

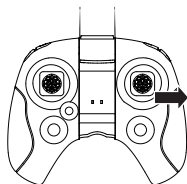
スロットルを短く押したままの状態（クリック音が聞こえます）、エルロンを右に倒すと、機体は右ロールします。

新バージョン：

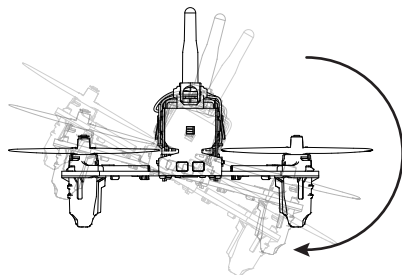
スロットルを止め、エルロンスティックを右に倒すと、機体は右ロールします。右ロールが完了すると、エルロンスティックを中央位置に戻し、機体の位置を調整してください。



モード2左手



モード1右手



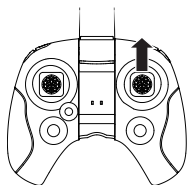
3. 前フリップ

旧バージョン：

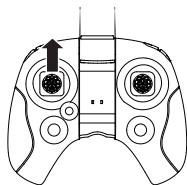
スロットルを短く押したままの状態（クリック音が聞こえます）、エレベーターを前に倒すと、機体は前フリップします。

新バージョン：

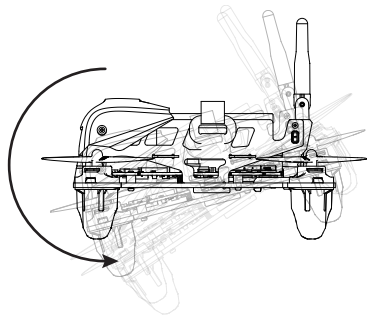
スロットルを止め、エレベーターを前に倒すと、機体は前フリップします。前フリップが完了すると、エレベータースティックを中央位置に戻し、機体の位置を調整してください。



モード2左手



モード1右手



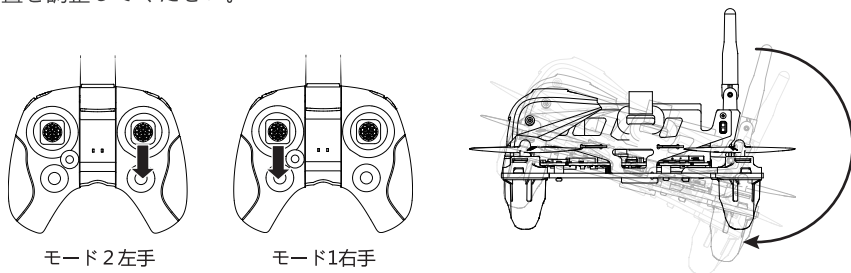
4. 後フリップ

旧バージョン：

スロットルを短く押したままの状態（クリック音が聞こえます）、エレベーターを後に倒すと、機体は後フリップします。

新バージョン：

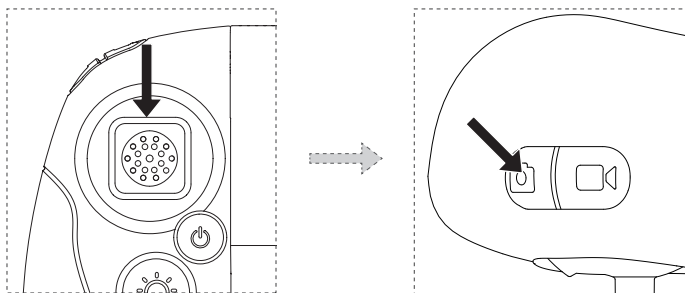
スロットルを止め、エレベーターを後ろに倒すと、機体は後フリップします。後フリップが完了すると、エレベータージョイスティックを中央位置に戻し、機体の位置を調整してください。



3.3 操縦2：機体+HS001 LCDディスプレイ+ HT015送信機（トランスミッター）+HV002 ゴーグル

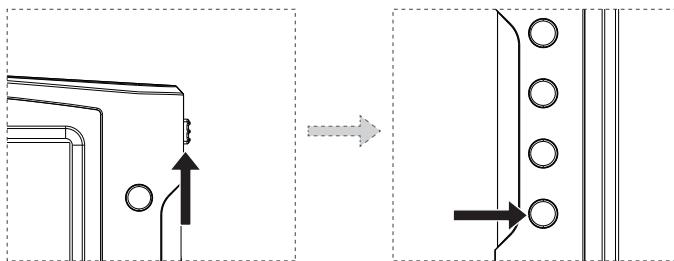
3.3.1 機体と送信機のバインド

1. スロットルを最も低い位置に押し下げます。写真ボタンを押しながら送信機の電源を入れると送信機がバインドモードに入ります。



すべてのイラストは「モード2」での説明です。（左スロットル）

2.HS001の電源を入れます。HS001のバインドボタン（下図参照）を長押しして、HS001をバインドモードに入れると「ピープ音」が三回鳴ります。

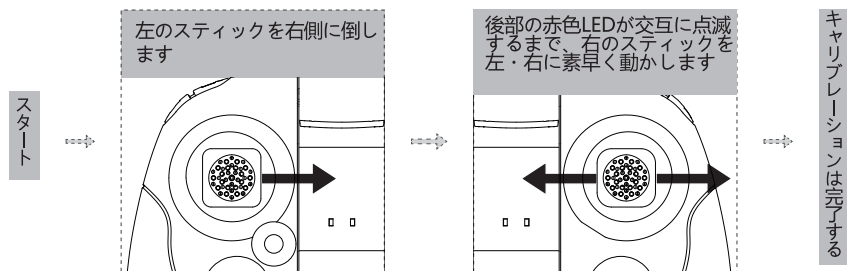


3. 機体バッテリーのコネクタを接続します。ユニットがバインドモードまたはペアリングモードの間は、送信機のジョイスティックやキーの操作をしたり、触れないでください。飛行が不安定になることがあります。バインドが完了すると、送信機のバインドステータスLEDは青色で点灯します。

3.3.2 水平キャリブレーション（ジャイロ較正ともよべられます）

飛行中の機体が目安せず水平に移動してしまう場合は、水平キャリブレーションを実施してください。飛行中に異常が発生した場合は機体を着陸させ、モーターを停止してください。以下の手順に従って、水平キャリブレーション/ジャイロ較正を行ってください。

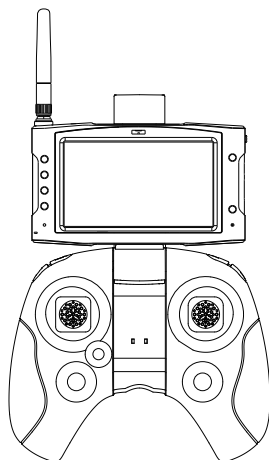
1. 機体を水平な場所に置き、次の水平キャリブレーションを行ってください。左のスティックを右側に倒した状態で、後部の赤色LEDが交互に点滅するまで、右のスティックを左・右に素早く動かします。
2. 4つのLEDがすべて青色で点灯すると水平キャリブレーションは完了です。再飛行は水平キャリブレーション終了から15～20秒程度経過後に行ってください。



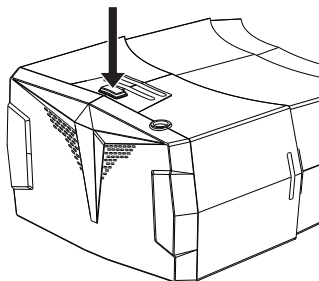
水平キャリブレーションを行う前に、すべてのモーターが完全に停止しているか確認してください。そして、機体が水平に置かれているか確認してください。較正中に機体を動かしたり、傾斜面で行うとエラーが発生します。

3.3.3 H S 001ディスプレイの取り付け

オプション1：H S 001ディスプレイをH T 015
のモバイルデバイドホルダーに置きます



オプション2：HV002ゴーグルのパネル取り
外しボタンを押して、前のパネルを取り外
します。 露出したコンパートメントに
HS001を取り付け、パネルを閉じます。 取
り付け後、調節可能なヘッドストラップを
調整して、ゴーグルをかぶります。



ディスプレイを取り付けたら、フェイスパネルが緩んでいないか確認してくだ
さい。 緩い場合は調整をしてください。

3.4 モーターストールプロテクション

機体が墜落したり、プロペラが外的要因で停止した場合、さらなる損傷を防止するた
めに、モーターは自動的に停止します。

H122D よくある質問

1. 機体と送信機がバインドできない

- (1) 送信機と機体両方の電源がオンかどうかを確認します。
- (2) 送信機と機体の電源を一旦切ります、ページ7に掲載されるバインド手順に従って、機体と送信機を再度バインドしてください。

2. 画像がないまたは画像伝像信号は干渉された

- (1) WIFI、電子設備、携帯基地局など強い無線電波干渉源があるかどうか確認します。それら施設の付近では飛行をさせないで、飛行場所を変更してください。
- (2) 機体と送信機を再度バインドしてください。5.8と2.4の周波数はお互いに干渉される可能ですから。
- (3) 最良の周波数を見つけ、高品質のライブ映像を提供するように「5.8G周波数」選択メニューに入り周波数を選択します。

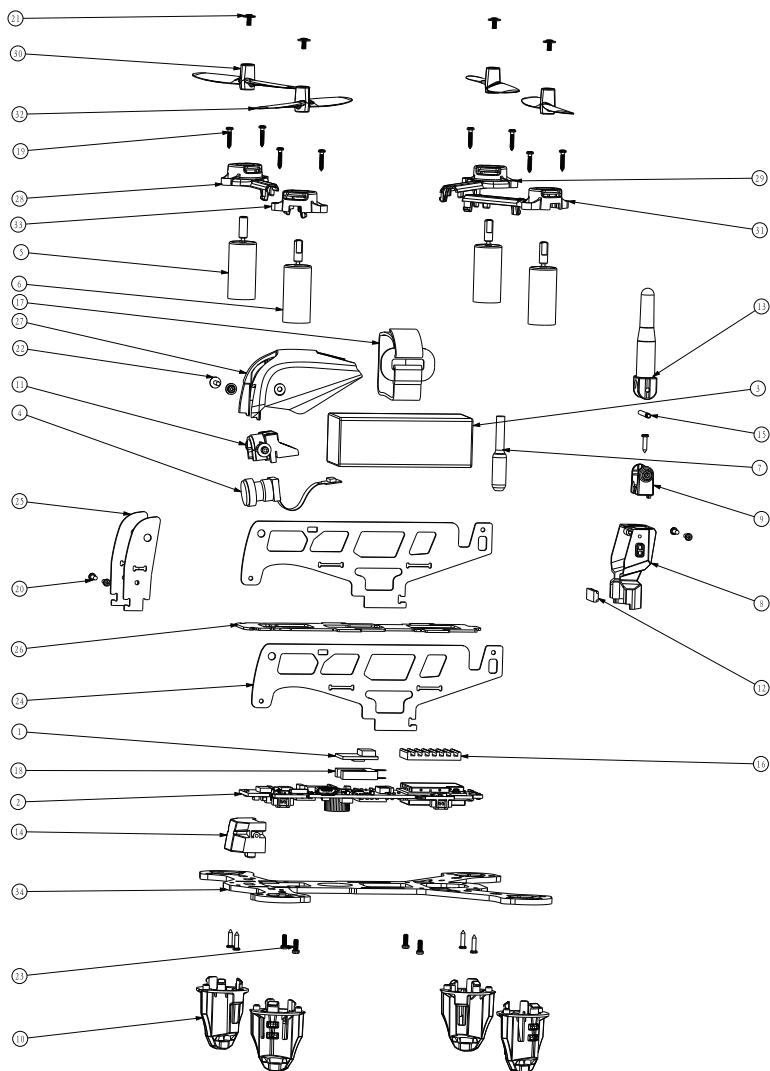
3. 機体またはビデオ画像の揺れ

- (1) プロペラが破損していないか確認してください。 損傷、摩耗 曲がったりしたプロペラは速やかに交換してください。
- (2) 機体本体の各ネジがしっかりと固定されているか確認してください。
- (3) モーターシャフトがスムーズに回転するかを確認してください。 モーター不具合の場合は、交換する必要があります。

4. 写真や動画が撮影できない

- (1) MicroSDカードが正しく挿入されていることを確認してください。
- (2) MicroSDカードはClass10以上で、16GBまたは32GB未満のものをFAT32でフォーマットしてからご利用ください。

H122D FAQ (よくある質問)



No.	パーツ名	数量
01	気圧プレート	1
02	H122D PCB 基盤	1
03	H122D LiPoバッテリー	1
04	H122D カメラヘッド	1
05	モーター (赤青線)	2
06	モーター (白黒電線)	2
07	5.8G アンテナ	1
08	リアキャノピー-H122D	1
09	アンテナベース-H122D	1
10	モーターケース - H122D	4
11	カメラマウント-H122D	1
12	リアカメラレンズ - H122D	1
13	アンテナチューブシース - H122D	1
14	ヘッドライトカバー - H122D	1
15	ステンレススチールシャフト - H122D	1
16	ヒートシンク - H122D	1
17	ベルクロストラップ - H122D	4

No.	パーツ名	数量
18	ショックアブソブションフォーム	1
19	スクリュー	8
20	スクリュー	9
21	スクリュー	4
22	スクリュー	2
23	スクリュー	4
24	サイドプレート (炭素繊維フレーム) - H122D	2
25	フロントプレート (炭素繊維フレーム) - H122D	2
26	センタープレート (炭素繊維フレーム) - H122D	1
27	フロントキャノピー-H122D V01	1
28	フロントAモーターマウント - H122D	1
29	リアBモーターマウント - H122D	1
30	プロペラA	2
31	リアAモーターマウント - H122D	1
32	プロペラB	2
33	フロントBモーターマウント - H122D	1
34	ボトムプレート (炭素繊維フレーム) - H122D	1

H122D アクセサリ



H122D-01
フロントキャノピー



H122D-02
ヘッドライトカバー
+リアランプレンズ



H122D-03
アンテナベース+ア
ンテナチューブシ
ース+リアキャノピー



H122D-04
モーターケース
+モーターマウント



H122D-05
調整可能カメラマウント



H122D-06
カーボンファイバ
ーレーシングフレーム



H122D-07
カメラヘッド



H122D-08
H122D PCBマザーボード



H122D-09
スキニユセット



H122D-10
プロペラA/B



H502-19
スキニユドライバー



H122D-11
5.8G アンテナ



H122D-12
USB充電ケーブル



H122D-13
HT015送信機



H122D-15
HS001 ディスプレー



H122D-18
HV002 FPV ゴーグル



H107D-A09
送信機サンシェ
ードカバー



H501S-26
USB充電ケーブル



注意：ご使用の前に取扱説明書をよくお読みください

- ・ 充電中のLiPoバッテリーは放置せず、常に充電状況を監視してください。
- ・ 充電を完成した後、すばやく充電ケーブルのプラグを抜いてください。
- ・ 本製品はおもちゃではありません、14歳未満のお子様には適しません。

www.HUBSAN.com

Product Name : X4 STORM

Company : Shenzhen Hubsan Technology Co., Ltd.

Address : 13th Floor, Block 1, Tower C, Software Industry Base, Xuefu Road, Nanshan District, Shenzhen, China.

Factory : Dongguan Tengsheng Industrial Co., Ltd.